



鹿島功 議員

# 行政改革は？

**町長** 進めていく

【鹿島】第二次大山町行政改革大綱と、集中改革プランの職員定数目標と現状は。  
【町長】平成17年合併時の職員数は266人で、平成23年度は228人。

集中改革プランでは、平成23年度225人、平成24年度219人の目標。  
定員適正化計画では、平成27年4月の職員数を217人としている。  
現在は集中改革プランの目標は達成していないが、定員適正化計画は目標を達成している。  
【鹿島】行政機構の見直しなどの考えはあるのか。  
【町長】平成20年には



職員の定員適正化が進められている

総合支所方式から、現在の本庁支所方式へと機構を変えた。  
平成22年にも組織変更をしたが、町民のこともあり、急な変更はためらう。  
しかし、今後は少ない職員で住民サービスをしていくために、事務事業の見直しや組織の再編など、プロジェクトチームで検討していく。

# 技能労務職の給与は？

**町長** 交渉を継続

【鹿島】本町の技能労務職の給与が、県や国の同職より高いのはなぜか。  
【町長】1990年代の同一職場は同一賃金という交渉結果として、技能労務職も一般職と同一給与表を認めたという経緯がある。  
その後、合併時に

組合と交渉をしてきたが、結果的に解決せずそのままの状態。現在これを改めるよう組合と交渉を継続している。  
また、技能労務職員は、給与の是正や、職種の転換（一般職に変わる）、さらに配置転換も申し  
入れていくが、応じてもらえない状態。  
町内にゴミ焼却施設がなくなることや保育所の統合で、調理場の職員が少なくなるなどの説明をしたが、前に進まない状態である。  
今後も前向きに交渉を進めていく。



技能労務職の今後は（閉所の保育所）